



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社  
コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	666	7.1	232	14.3	467	11.2	273	24.7
2022年3月期第2四半期	717	4.6	271	44.3	420	27.1	219	34.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,337百万円 (71.4%) 2022年3月期第2四半期 780百万円 (257.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	6.83	
2022年3月期第2四半期	5.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	27,362	26,041	89.9	614.60
2022年3月期	26,202	24,904	90.3	591.11

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 24,592百万円 2022年3月期 23,652百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,160	17.6	380	23.9	680	20.5	370	43.8	9.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	40,014,943 株	2022年3月期	40,014,943 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	745 株	2022年3月期	596 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	40,014,311 株	2022年3月期2Q	40,014,380 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症に対する規制緩和等により、徐々に経済の回復基調が見込まれたものの、ロシアのウクライナ進行の長期化、インフレ懸念、急速な円安、さらにサプライチェーンの混乱等様々な要因により、世界経済の先行きは不確実性が高まっております。

一方で、当社グループの事業拠点である中国深圳市においては、他地域に比べ新型コロナウイルス感染症は一時的な発生にとどまり、主に飲食などのサービス業に影響が出ているものの、大手製造業等への影響は軽微にとどまっております。また、ウクライナ情勢等の地政学的リスクについても当社グループの事業に大きな影響はないものと考えております。

このような状況下、当社グループは引き続き不動産賃貸管理事業の収益基盤の強化に取り組むとともに、再開発事業の着工に備えて、改装費用を伴う長期入居予定の新規テナントの入居の見送り、賃貸契約期限の到来するテナントに対しても再開発の状況を見据えて長期間の契約更新は避けるなどの施策を継続的に実施しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における営業収益は666百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益232百万円（前年同期比14.3%減）、経常利益467百万円（前年同期比11.2%増）親会社株主に帰属する四半期純利益273百万円（前年同期比24.7%増）を計上いたしました。

#### 不動産開発事業について

当社グループが推進するプロジェクトは、子会社深圳皇冠（中国）電子有限公司（以下「皇冠電子」）が保有する土地（127千㎡）・建物（89千㎡）を再開発し、新たに世界30ヶ国のフォーチュングローバル500企業を始めとした先進的の大手外資企業200社を誘致し、進出企業が本格的なR&Dやマーケティング拠点若しくは中国本社機能を置き、新たなイノベーションを巻き起こすための大規模施設「ワールド・イノベーション・センター」（仮称：WIC）（総床面積70万㎡）を建設する構想です。

WICプロジェクトは、広東省9都市に香港、マカオを加えた湾岸都市経済圏の大湾区（グレーターベイエリア）を中央政府が「全国の先頭に立ち、模範的なイノベーション、テクノロジー及び経済・文化の牽引役」となるエリアとして明確に位置付け様々な優遇政策を打ち出しており、特にハイテク、先端医療分野において発展の度合いを高めていく国際都市深圳市の中心部において建設を予定しております。

このような環境下、WICはハード面において環境を重視した持続可能な開発目標（SDGs）を意識した施設を建設し、ソフト面においては中国政府の協力を得て、WICを起点に中国の主要経済都市（13省・4直轄市）にビジネスの拡大を可能にするネットワークや24時間365日対応のコンシェルジュサービスの提供により、進出企業のイノベーション創出を支援いたします。

一方では、深圳市政府の委嘱を受けて精力的な企業誘致活動も行っており、日本をはじめ欧米亜のフォーチュングローバル500企業を中心に大手企業が強い関心を示しており、今後開発手続きが進むに従ってWICへの進出希望企業が増加するものと思われれます。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産総額は27,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,160百万円増加いたしました。これは主に為替相場の変動により在外子会社の現金及び預金が増加したことによるものであります。

負債は1,321百万円となり前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主に預り金の減少によるものであります。

純資産は、26,041百万円となり前連結会計年度末に比べ1,136百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、業績予想等に修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,397	10,343
営業未収入金	323	298
その他	845	856
貸倒引当金	△198	△160
流動資産合計	10,367	11,338
固定資産		
有形固定資産	7	87
無形固定資産		
のれん	118	98
土地使用権	959	1,049
その他	0	0
無形固定資産合計	1,078	1,148
投資その他の資産		
長期貸付金	13,340	13,326
その他	1,408	1,462
投資その他の資産合計	14,748	14,789
固定資産合計	15,834	16,024
資産合計	26,202	27,362
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	89	89
引当金	2	1
その他	301	256
流動負債合計	392	346
固定負債		
退職給付に係る負債	7	8
その他	897	966
固定負債合計	905	975
負債合計	1,297	1,321
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	5,241	5,315
自己株式	△0	△0
株主資本合計	23,421	23,494
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	231	1,098
その他の包括利益累計額合計	231	1,098
非支配株主持分	1,251	1,448
純資産合計	24,904	26,041
負債純資産合計	26,202	27,362

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業収益	717	666
営業原価	85	97
営業総利益	632	569
販売費及び一般管理費	361	336
営業利益	271	232
営業外収益		
受取利息	121	137
為替差益	4	79
その他	26	18
営業外収益合計	152	235
営業外費用		
固定資産除却損	3	-
営業外費用合計	3	-
経常利益	420	467
税金等調整前四半期純利益	420	467
法人税、住民税及び事業税	162	149
法人税等調整額	7	14
法人税等合計	170	164
四半期純利益	249	303
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	219	273

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	249	303
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	530	1,033
その他の包括利益合計	530	1,033
四半期包括利益	780	1,337
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	666	1,140
非支配株主に係る四半期包括利益	114	197



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の注記事項(重要な会計上の見積り)に記載した会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提に、重要な変更はありません。